

がん対策出前セミナーを実施しています!

県では、健康経営を念頭においた企業におけるがん対策を推進するため、企業が従業員を対象としたセミナーを開催する際に講師を派遣する「がん対策出前セミナー」を実施しています。ぜひ応募してみませんか?



事業の概要

対象

県内に事業所・工場を置く企業、団体等

会場

各企業・団体で設定

講師

講演内容に応じ、県が調整
(講師の希望については応相談)

講演内容

- 以下のテーマから選択
- ①がん全般に関すること(予防や検診、治療など)
 - ②仕事と治療の両立支援に関すること
 - ③がん対策に取り組む企業の好事例等に関すること
 - ④がん経験者やその家族による体験談

経費・役割分担

[各企業・団体にお願するもの]

- 会場の確保
- 参加者の募集
- 当日の進行
- 配布資料の準備

[県が用意]

- 講師の手配(謝金、旅費は県が負担)
- 講師との調整

応募方法

県ホームページをご確認の上、開催希望日の2か月前までに、県健康課(TEL:076-444-3224)にご連絡ください。

詳しくは

富山県がん対策出前セミナー



がんに関する相談窓口等

【がん検診に関する問い合わせ先】

協会けんぽ加入事業所の方
(生活習慣病予防健診について)

全国健康保険協会富山支部保健グループ

TEL.076-431-5273

https://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/toyama/

【両立支援に関する問い合わせ先】

富山産業保健総合支援センター

TEL.076-444-6866

https://www.toyamas.johas.go.jp/

各種お役立ち情報

富山県健康課 がん情報とやま

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1205/kj00018658.html



厚生労働省 がん対策推進企業アクション

https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/

厚生労働省 治療と仕事の両立支援ナビ

https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/index.html

国立がん研究センター がん情報サービス

https://ganjoho.jp/public/index.html

企業における

がん対策のススメ

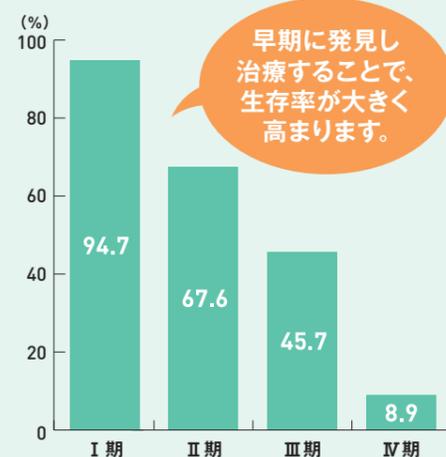
日本では生涯のうち、約2人に1人ががんに罹り、そのうち約3人に1人が就労可能年齢で罹患しています。

一方で、医療の進歩等により、仕事と両立しながらがん治療を行えるようになってきました。

企業で働くがん患者が今後ますます増加していく中、人材確保など「健康経営」の観点から、

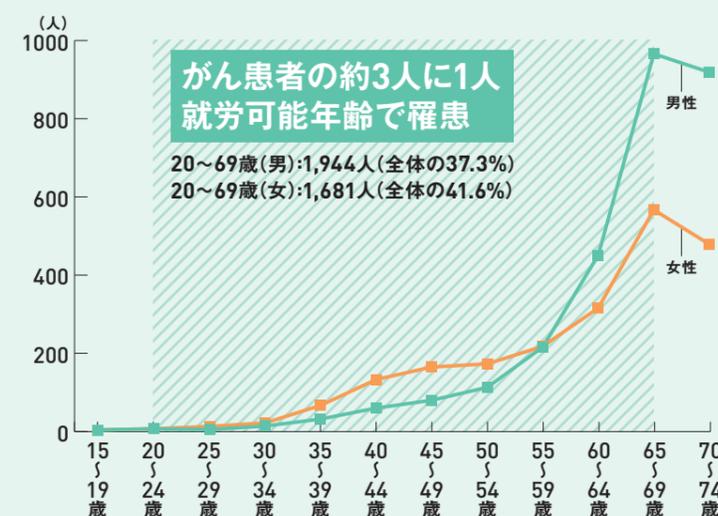
今後一層、企業でのがん対策が求められます。

胃がんの進行度別5年生存率 (2010~2011年)



出典: 国立がん研究センター/がん診療連携拠点病院等院内がん登録生生存率集計報告書

性別・年代別がん罹患患者数 (2016年)



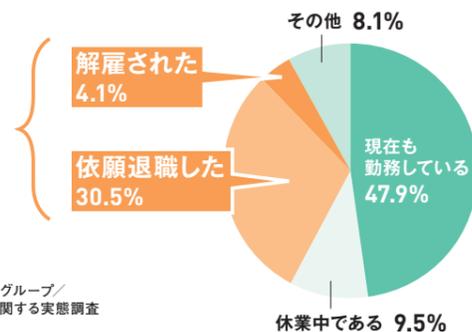
出典: 厚生労働省/全国がん罹患数・率報告書2016年

従業員が長く安心して働けるようがん対策における事業主の責務が法律に明記されています。

がん罹患者の3人に1人が依願退職したり、解雇されている実態がある中で、2016年12月、「がん対策基本法」が改正されました。第8条に、「事業主は、がん患者の雇用の継続等に配慮するよう努める」と事業主の責務が明記されています。

診断時点でお勤めしていた会社について

勤務者の34.6%が
依願退職したり、
解雇されている。



出典: 「がんの社会学」に関する研究グループ/2013がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査がん向き合った4054人の声

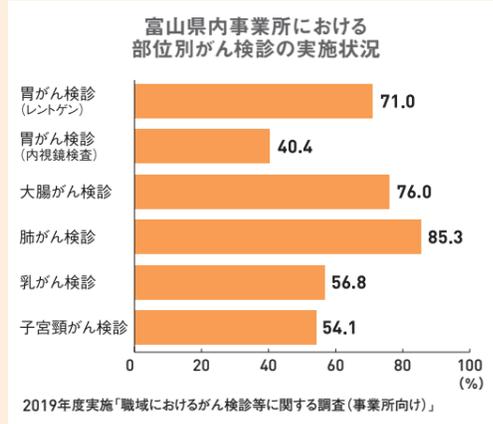
がん検診で早期発見

現在、富山県では約3人に1人が“がん”で亡くなっています。

しかし、がん発見時の病期(ステージ)が早期であればあるほど治る可能性が高くなります。

早期のがんには、自覚症状がほとんどなく、痛みなどの何らかの症状が出るのは、原則として進行がんです。症状がでる前の早期がんを見つけるためには定期的にがん検診を受けることが必要です。

がん検診には利益と不利益がありますが、正しい方法で行うことにより、がんによる死亡を減少させることができると考えられます。



国が推奨する5つの

胃がん検診

- 胃内視鏡検査(胃カメラ)
- 【対象】50歳以上の男女(2年に1回)
- レントゲン(バリウム)
- 【対象】40歳以上の男女(1年に1回)

大腸がん検診

- 便の検査
- 【対象】40歳以上の男女(1年に1回)

肺がん検診

- 胸のレントゲン
- 【対象】40歳以上の男女(1年に1回)

がん検診

乳がん検診

- レントゲン(マンモグラフィ)
- 【対象】40歳以上の女性(2年に1回)

子宮頸がん検診

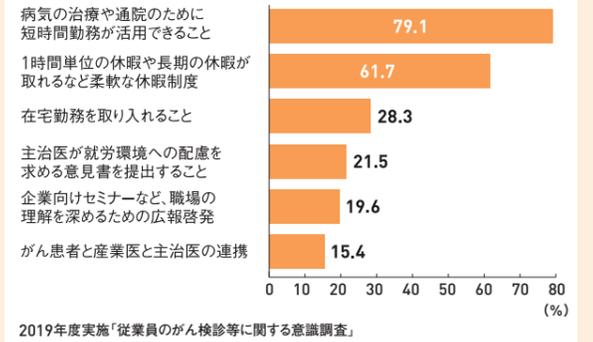
- 子宮入口の細胞をとる検査
- 【対象】20歳以上の女性(2年に1回)

がんになっても働ける職場に

がんと診断される社員が増える一方で、医療の進歩によって、仕事への早期復帰や治療をしながらか働き続けることが可能になってきています。社員ががんになったときに、企業が治療をサポートする時短勤務制度や休暇制度、治療と仕事の両立を支援する職場風土づくりなど、治療しながら働き続けられる環境づくりが大切です。

また、がんに関する正しい知識を職場に広めていくことで、社員が安心して働き続けられる職場環境につながります。

働く意欲のあるがん患者が働き続けるようにするためには、どのような取組みが必要だと思いますか。



従業員のがん対策や健康増進に力を入れている事業所の取組例を紹介します。(2019年度実施「職場におけるがん検診等に関する調査(事業所向け)」に回答した事業所から選定)

社員教育で健康意識が向上

すべての業務をストップし、全社員参加の講習会を開催

同社は2017年「健康企業宣言」STEP1に認定。2019年にはSTEP2の金に認定された。毎年2月第一土曜には、健康や安全に対する意識を高めるため、すべての業務をストップして全員参加の講習会を開催し、様々な観点から健康意識の向上を図っている。また、がん検診を含む健康診断を実施し、万が一再検査が必要な場合は検査のための休みが取れるよう配慮する旨が上司に伝えられる。さらに、社員の扶養家族には健康診断を促す案内を個別に配布するなど、細やかな取り組みを進めている。



- 1 全社員参加の講習会。
- 2 社内の掲示板「ALTだネット」には、がん検診を促すチラシなども。

講習会の専門的な話は勉強になります。中には、毎日の生活に取り入れたこともあります。会社全体で社員の健康づくりに取り組んでいるので、みんなの健康意識も高いと感じます。



「禁煙を考えている人のきっかけづくりをしたい」と話す労務担当の伊藤さん



株式会社アルト

【所在地】富山市水橋市田袋280
【業種】産廃処理業
【従業員数】187名



病気の早期発見と治療・復職に配慮

社内研修の実施と傷病有給制度

2019年、健康経営宣言を行い、健康診断後の二次検診の受診、健康をテーマとした研修の実施など行動目標を定め取り組んでいる。なかでも、がんの早期発見に努めると同時に、万が一がんに罹った場合も安心して治療に専念できるように失効した有給休暇を傷病有給として最大20日まで使える制度や、復職後の部署異動やテレワークなどの相談にも対応している。

人間ドック・PET検査も受けやすく

人間ドックは自社の保険組合による補助(自己負担額2割)で受診することができ、節目年齢では自己負担なしで半日ドックの受診が可能。また、県内ではまだ実施している企業の少ないPET検査についても本人の希望があれば、人間ドックと同様に2割の自己負担で受診することができる。がんの早期発見に有用で、全身を一度に検査できることもあり、毎年受診者がいる。



保健師・看護師が常駐する医務室で心や体に関する悩みを相談することができます。復職後の働き方、注意点などを一緒に考えてくれる心強さがあります。また、上司や産業医への仲介役も担っているので、困ったときに行く場所があるのが安心です。



「病気の早期発見は本人にとって会社にとってもプラス」と話す総務人事統括室 人事部長兼安全衛生部長の数川さん



三協立山株式会社

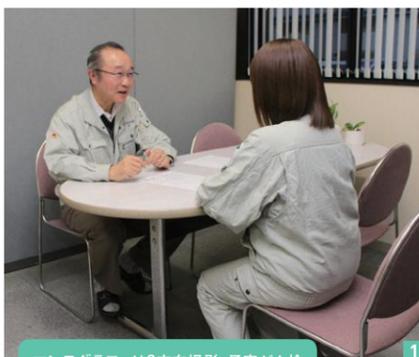
【所在地】高岡市早川70番地
【業種】総合建材メーカー
【従業員数】3,708名(富山県内)



- 1 健康診断の不安や検査内容の相談も親身になって対応。
- 2 命にかかわる熱中症などはLINEで一斉に全従業員に向け注意喚起。



「早く見つけて早く治療がなにより大切」と話す総務部長の南さん



マンモグラフィは2方向撮影、子宮がん検診は35歳以上であれば体がん、頭がんどちらも希望できます。婦人科系検診は気が進まないものですが、毎年、健診の回覧が回ってくるので早期発見、早期治療と思い受診しています。



太閤産業株式会社

【所在地】富山市草島15番地15
【業種】管工事業
【従業員数】40名



細やかな対応でがん検診受診率100%

万全の準備で受診しやすい環境づくり

毎年、健診申し込み初日の約1カ月前から、社員一人ひとりの受診希望日とオプションの検査項目を回覧で記入してもらい、健康診断の受付初日に申し込みを行うのが慣例となっている。胃がん検診は胃カメラ(口経・鼻経)を推奨し、女性は乳がん、子宮頸がん・体がん、男性は前立腺がん検診など、希望があればオプション検査も含め全額が補助される。早い段階から準備をすすめ、勤務時間内に受診できることもあり、毎年100%の受診率を長年にわたり維持している。

日頃の健康管理にも注意を払う

社内には血圧計、体温計、配置薬などを常備し、就業前にはラジオ体操と職長による体調チェックや聞き取りを実施。夏は安全管理担当者がLINEを使い全社員に熱中症の注意喚起を行い、冬はインフルエンザ予防接種を全額補助で全員が接種するなど様々な面からの健康管理も行っている。



- 1 食堂内に設けられた掲示板に健康に関する情報を掲示。特に大切なものに関しては回転灯を点灯し注意を促す。
- 2 敷地内の各所に設けられた喫煙室。喫煙後はすこし時間を置いて事務所などに入室し、3次喫煙を予防。

入社当初は髪や制服につくたばこの臭いが苦痛でしたが、会社が主体となって受動喫煙対策に取り組んでくれたので環境が改善しており、今ではストレスなく快適に働くことができます。(事務職・女性)



中越合金鑄工株式会社

【所在地】立山町西芦原新1番地1
【業種】非鉄金属鑄物製造業
【従業員数】660名

「病気になるた本人はもちろん家族のフォローもしっかり行っています」と総務課長の河口さん

手厚い支援で治療と仕事の両立

治療のための積立有給制度を導入

勤続3年以上の従業員を対象に、がんを含む傷病や家族の介護などで取得できる積立有給制度(失効するすべての有給休暇を上限40日まで積み立てることができる制度)の運用を1999年から開始。また、メンタル面のフォローや職場復帰支援プログラムも充実。社内の心理相談員やキャリアコンサルタント、産業界との連携による支援など、治療しながら働ける体制づくりがなされている。

受動喫煙防止にも積極的に取り組む

2016年の受動喫煙の防止対策・分煙に関する規定、2018年の健康企業宣言(STEP2認定)により、敷地内禁煙にするなどたばこの害を防ぐ取り組みについても早くから実施。3次喫煙(残留受動喫煙)の被害防止にも積極的に取り組み、喫煙者のマナー向上をすすめると同時に、広い敷地内に設けられた複数の喫煙所は、休憩時間とお昼休みのみの使用に制限し、今後は喫煙所の数を減らしていく予定。

